

# 地域で助け合い、親子をサポート

# 子育て支援サービス実施中！

香川県は次世代育成支援行動計画の中、地域におけるきめ細かい子育て支援サービスの充実を推進しています。育儿の悩みを相談したり、同じ立場の親子と交流する機会が身近にあれば、子育て

の負担を軽減できるはずです。県内でも妊娠に始まり、出産、育儿、就園・就学まで、子育ての段階に応じたさまざまなサポート体制があります。子育て支援サービスを行っている3団体を紹介します。

## 助産師のほつと相談室

県



助産師会が県内6カ所で定期的に開催する「助産師のほつと相談室」。地域の助産師が、妊娠や子育て中の親の「母乳が出にくいや」「2人目を妊娠したが上の子にどう接するか」などの日常的な悩みに耳を傾け、子育てをサポート。助産師が継続して関わる場として好評で、参加者も増えています。

三野町保健センター（三豊市）では2カ月に1度、相談室を開設。授乳や離乳食の個別相談や、身長・体重

測定を行います。子どもが生後1ヶ月を迎える前から訪れている母親は「授乳がうまくできず悩んでいたが、助産師に相談してスムーズにできるようになり本当に助かった」と大喜び。9カ月児の母親は「話を聞いてもらえるだけでも安心できる」とほっとした様子です。

同センターではベビーマッサージが人気で、市外から訪れる人も。オイルを使って赤ちゃんの肌を優しくなでると血行を促進するだけでなく、スキンシップで母子ともに心地よさを感じられると評判です。助産師の篠原佐智子さんは「私たちの励ましで母親が安心してくれたら、育

児の助けにもなるのでは。1カ月末満の子ども連れでもどんどん利用してほしい」と話しています。

乳幼児を中心とした、子育て中の親子の交流や情報交換などをを行う地域の子育て支援拠点。2010年にNPO法人となつた「ゆうゆうクラブ」が開催する「子育てホットステーションゆうゆう広場」は、高松市屋島西町を拠点に就学前までの幼児を対象に、月曜から金曜まで広場を開放。広場事業の他、母親対象のママヨガ、父親の

子育て参加を目的とするパパ俱楽部、地元の敬老会との交流など、毎月さまざまなイベントを企画しています。核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、孤立しがちな子育てを地域で支援しています。昨年度は約80世帯、約300人が登録。利用者からは「同じ年代の子を持つ母同士、悩みを相談し合い、情報交換をしている」「ストレス発散になる」「いろんな人と知り合えるきっかけになつた」などの声が聞かれています。同施設を拠点に交流の輪が広がっているよう。理事長の田中博子さんは「今後は小中学校とも連携を取りつつ、地域全体での子育てを根ざしたい」と話しています。



## つどいの広場

子育て参加を目的とするパパ俱楽部、地元の敬老会との交流など、毎月さまざまなイベントを企画しています。核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、孤立しがちな子育てを地域で支援しています。昨年度は約80世帯、約300人が登録。利用者からは「同じ年代の子を持つ母同士、悩みを相談し合い、情報交換をしている」「ストレス発散になる」「いろんな人と知り合えるきっかけになつた」などの声が聞かれています。同施設を拠点に交流の輪が広がっているよう。理事長の田中博子さんは「今後は小中学校とも連携を取りつつ、地域全体での子育てを根ざしたい」と話しています。



## ファミリー・サポート・センター



地

域で子育ての援助を受けたい人「まかせて会員」、援助を受ける人「おねがい会員」、援助を行った事業で、県内では6カ所で開設されました。1994年に発足した事業で、「丸亀市ファミリー・サポート・センター」は開設約1年。利用は□コミで広がり、現在おねがい会員84人、まかせて会員83人、両方会員6人が登録しています。

支援内容は保育施設や放課後児童

行事、買い物など外出時の一時預かりなどの他、利用者のニーズに合った援助を行っています。事前にセンターのアドバイザーがおねがい会員とまかせて会員を紹介し、三者でマッチング（打ち合わせ）を行い、子育て方針に加え、アレルギーなども細かく話し合います。「県外から来て不安だったけれど、次の子どもを産もうかと思う」「親戚のおばちゃんができたみたい」と心強いサポートができる様子。「おねがい会員」に登録さえしておけば、いざというときに対応してもらえるので、同センターは「まずは登録だけでも」と話しています。会員には子育て冊子の配布やクリスマス会などのイベントも開催しています。

子育ての強い味方!

### 地域の子育て支援サービス

#### 助産師のほっと相談室

県内では高松、高松西、小豆島、東讃、中讃、西讃の6カ所で活動しています。

〈問い合わせ〉 すこやか助産師センター  
高松市春日町1176 ☎087(844)4131  
<http://sanuki-sanba.pepo.jp/>

#### つどいの広場・かがわの広場

「つどいの広場」は高松市内に7カ所の他、丸亀市、坂出市、善通寺市、三豊市、宇多津町に設置。週1回以上開催の小規模な広場「かがわの広場」は高松市、さぬき市、まんのう町に設置されています。

〈今回の取材先〉 子育てホッピステーション ゆうゆう広場  
高松市屋島西町2479-12 ☎087(841)8270  
<http://yuuyuu.ciao.jp/>

#### ファミリー・サポート・センター

県内では高松市(三木町、綾川町を含む)、丸亀市、坂出市、さぬき市、三豊市、宇多津町の6カ所で活動。各市から委託を受けたNPO法人または社会福祉協議会が実施しています。

〈今回の取材先〉 丸亀市ファミリー・サポート・センター  
丸亀市大手町2-1-7 社会福祉協議会(ひまわりセンター内)  
☎0877(22)5700 <http://www.marugame-shakyo.or.jp/>



# みんな子育て応援団

1999年から、県が少子化対策などの一環として始めた「みんな子育て応援団」。四国新聞社との協働で、パワー

アップ。子どもと一緒にのお出かけがより楽しく、便利になるサービスを無料で受けられます。

お得な割引、使っていますか？

## 子どもとおでかけ応援団

授乳やおむつを替えたい  
ミルク用のお湯が欲しい

今日だけ子どもを預かってほしい

子育ての相談をしたい

## いつも安心応援団

※加盟店舗やサービス内容などは、ホームページでご確認ください。

## みんなトクだね応援団

子どもと一緒に出かけた時に、特典やプレゼントがあるうれしいな

金は無料。

**無料会員登録だけ！  
充実のサービス**

「みんな子育て応援団」は、「会員全体で子育て家庭を支援する気運を高めたい」という趣旨に賛同した店舗や企業、団体が子育てに役立つサービスを提供します。

使い方は簡単。パソコンや携帯電話

会員登録  
無料

## 会員登録・サイトへのアクセス

- URLを直接入力(PC、ケータイサイト共通)  
<http://kosodate.shikoku-np.co.jp>
- 空メールを送信  
k@4594946.jp あてに空メールを送ると、URLが記載されたメールが届きます。
- バーコードでアクセス →

## ご利用方法



### お知らせ

入会当初に登録したメールアドレス(ログイン時に入力するもの)を変更された、もう使われていない方は変更をお願いいたします。事務局からのお知らせなどが届かないケースがあります。変更是ホームページ、携帯からできます。



# みんな子育て応援団 大賞決まる!



× × × ×

子育て支援に積極的に取り組んでいる団体などを顕彰する  
「2010年度 みんな子育て応援団大賞」が決定しました。

× × × ×

四国新聞社賞

## さぬきツインクラブ



多胎児の親や多胎妊婦が交流し、育児の悩みを相談する子育てサークル。会員制交流サイト(SNS)コミュニティーを開設したり、多胎妊婦のサポートにも取り組みながら多胎育児支援の輪を広げています。

知事賞

## 土庄町子育て支援センター



子育て中のママや家族が気軽に集い、育児の情報交換ができる場を開設する町営の子育て支援施設。親子で体操、リズム遊びなどの触れ合い活動のほか、保健師や小児科医を講師に招いての講座などを実施しています。

知事賞

## NPO法人地域は家族・コミュニケーション



子育て期から思春期までの親同士が、臨床心理士などの専門家とともに交流できる場を開設。発達障害事業について丸亀市や専門家との協働で、グループカウンセリングやセミナー、保護者の場などを開催しています。

## 子どもの健康管理や育児についての 悩み・不安には…

### 育児相談から親子の交流まで

#### ■地域子育て支援センター

保育所等に併設し、入所園児に限らず地域の乳幼児子育て家庭等が相談可能。

#### ■つどいの広場・かかわの広場

乳幼児を中心とした親子が集い、交流や情報交換を行っている拠点。

#### 専門の相談窓口

#### ■保健所・保健センター

乳幼児の発育や発達、言葉などの相談事業や親子教室など。

#### ■児童家庭支援センター

児童家庭支援センターけいあい ☎0879-25-6067

児童養護施設に併設。地域の関係機関と一緒に、子どもと家庭についての相談。

#### ■児童相談所

子どもや家庭に関するさまざまな相談（子育ての心配や不安、言葉や発達の遅れが心配など）。

県子ども女性相談センター ☎087-862-8861

県西部子ども相談センター ☎0877-24-3173

#### ■子育てホットライン

県教育委員会 ☎087-861-4951

家庭教育の悩みや不安に関する電話相談。

#### ■子どもホットライン

県教育委員会 ☎087-835-7867

いじめなど、子どもからの電話相談に、相談員が応じています。

#### ■問い合わせ／県健康福祉部子育て支援課 ☎087-832-3287



#### 赤ちゃんの急病に参考になるホームページ

医療ネット講岐

<http://www.medinfo.ne.jp/kagawa/>

子どもの救急 <http://kodomo-qq.jp/>

県造園事業協同組合では、東日本大震災の被災者を応援・支援すると共に、地震などの大災害時において、援護避難場所として、人々の命に関わる公園の果たす役割を多くの方々に関心を持ってもらうことを目的に、公園をテーマにした絵画コンクールを開催します。

部門ごとに、入賞者および入選者を決定し、入賞者は10月ごろに国営讃岐まんのう公園で表彰式を行い、入賞・入選作品は県庁ロビーで12月ごろ展示をするほか、各種催して展示する予定です。



問い合わせは県造園事業協同組合 ☎087(881)0772。

## 病児・病後児保育 働くパパ・ママはどんどん利用!

保育所では、子どもが病中（発熱など）や病後（回復期）の場合は預かってくれません。そんな時は一人で無理せず、保護者に代わって子どもを預かってくれる「病児・病後児保育」を利用しましょう。県内では小児科医院や保育所に併設する施設が13カ所あり、看護師や保育士が保育に当たります。利用料金の目安は1日当たり2000円前後。詳しくは下記の実施機関にお問い合わせください。

#### 【病児・病後児保育実施機関】

(2011年4月1日現在)

施設名	電話番号
香川医療生活協同組合へいわこどもクリニック病児保育はとぼっぽ（高松市栗林町）	090-6283-7443
トビウメ小児科医院付属病児保育室「子どもの家」（高松市伏石町）	087-865-3111
西岡医院病児保育室「レインボーキッズ」（高松市寺井町）	087-885-2863
小林内科小児科医院付属病児保育室「すこやかルーム」（高松市屋島西町）	087-844-8156
はらこども園病後児保育室（高松市牟礼町）	087-845-0234
総合病院回生病院（坂出市室町）	0877-46-1011
カナン子育てプラザ21「らっこ」（善通寺市生野本町）	0877-62-3695
にしかわクリニック病児保育室「げんきになあれ」（善通寺市木徳町）	0877-63-6500
三豊総合病院病後児保育室「わたっこ保育園」（観音寺市豊浜町）	0875-52-6685
小児科内科三好医院病（後）児保育室「チャイルド・ケアシステム・エム」（東かがわ市）	0879-25-3503
土庄町病児・病後児保育室「げんきっこ」（土庄町中央病院内）	0879-62-1211
内海病院病児・病後児保育室「オリーブキッズ」（小豆島町内海病院内）	0879-82-2121
綾川町病児保育室「うぐいす」（綾川町国民健康保険総合保健施設えがお内）	087-876-1185



#### 【応募規定】

絵のテーマ	県内の公園を描いたもの
画材や大きさ	クレヨンや絵の具など画材は自由。 大きさは画用紙の四つ切もしくはそれに準ずる大きさとしてください
部門	小学校低学年、小学校高学年、中学生、高校生
応募期間	7月11日（月）～9月8日（木）
応募先	香川県造園事業協同組合 〒761-8026 高松市鬼無町鬼無741-1 郵送または持参してください <a href="http://www.kagawa-zouenkumiai.jp">http://www.kagawa-zouenkumiai.jp</a>

# 稻作を通じ、学校・地域・家庭が連携 お米学習教室で 命の大切さを学ぶ

稻作を通じ、学校・地域・家庭が連携

「多度津町立豊原小学校」では、県中譲農業改良普及センターや豊原地区農業振興会などと連携し、1年を通じて稻作体験をする「お米学習教室」を行っています。稻作を通じ、地域の人や保護者との交流を深めながら、命の大切さも学んでいます。

## 初めての農業体験 どろんこ遊びから

▲植え方をよく聞き、作業に取り組む姿は真剣そのもの。1株ずつしっかりと植えていきます(写真是昨年の様子)

5年生の総合的な学習の時間に「つくろうお米！育てよう心！」をテーマに、約10年前から「お米学習教室」を行っています。農業体験の指導はJAや県中譲農業改良普及センター、豊原地区農業振興会が中

年に一から教わります。作業を終えた子どもたちからは「田んぼは命を育てる場所なんだ」「みんなで大切にしていきたいな」との声も。命の大さはもちろん、米作りに関わる人たちの苦労を感じられる体験となつたようです。

## 1年間の取り組み 「感謝祭」で発表

収穫した米は11月に行われる豊原地区の文化祭で販売。地域の人も毎年待ちにしており、あつという間に完売となるそうです。刈り取ったワラも、老人クラブのお年寄りや保



▲鎌を使っての稲刈り。地域の人の協力もあって立派な稲が育ちました

り、小学6年生と遊びを通じて交流。6年生にとつても保育士の仕事ぶりや幼児とのふれ合いを感じる機会となっているようです。児童たちは地域との関わりの中で、通常の授業ではなかなか得られない貴重な経験をしています。

なく学校になじめるように、昨年度は幼稚園、本年度は保育所も加わり、新1年生が不安な気持ちにしており、あつという間に完売となるそうです。刈り取ったワラも、老人クラブのお年寄りや保

り、小学6年生と遊びを通じて交流。6年生にとつても保育士の仕事ぶりや幼児とのふれ合いを感じる機会となっているようです。児童たちは地域との関わりの中で、通常の授業ではなかなか得られない貴重な経験をしています。

水を張った田んぼで代かきを兼ねたどろんこ遊びです。水着とゴーグルを着用して全身どろんこに。最初は抵抗があった児童も大はしゃぎで参加していました。代かきが終わったら、いよいよ田植え。印をつけたロープを使って保護者も一緒に植えていきます。保護者も初めての人が多いため、児童と同じように地域の人と一緒に教わります。作業を終えた子どもたちは「田んぼは命を育てる場所なんだ」「みんなで大切にしていきたいな」との声も。命の大さはもちろん、米作りに関わる人たちの苦労を感じられる体験となつたようです。

1年間の取り組みは、くすのき感謝祭で全校生徒や保護者、地域の人前で発表。「実際に体験することさ」「みんなで協力すること」「助けてくれた人への感謝」「根気強さ」を日々の生活でも実践してほしい」とは虫本利久校長。保護者や地域の人も児童と一緒に活動に喜びや絆の深まりを感じているようです。



▲保護者もなじみがないため、試行錯誤してしめ縄を作ります



# がんばる

## 励まし合い、新種目にも挑戦！

東四国国体が開催された1991年、県立総合水泳プール(高松市御厩町)の完成を期に発足した「香川ダイビングクラブ」。県内唯一の飛び込み競技のクラブです。現在、小学2年生から高校3年生までの男女14人が所属。学生時代に同クラブに所属していた植村佳員コーチらの指導のもと、日々練習に励んでいます。

プールでの実践練習が中心。1mの飛び板から10mの固定台まであり、種目は回転数や姿勢の違いによって何十種類もあります。陸上トレーニングで柔軟性を身に付けながら、難易度の高い種目にも挑戦。高さの恐怖と水温の低さに、台に向かうのをためらう時もありますが、互いに励まし、技を磨きます。

1年のうちプールで実践練習ができるのは4月下旬ごろから9月まで。冬はトラン

ポリンや陸上板を使って練習します。「クラブ全体が家族のよう。個人競技だからこそつらい時に助け合い、みんなで新しい種目に挑戦するなどチームワークを大切にしています。成長していく姿を見るのが楽しみ」と植村さん。1回の飛び込みごとに手の位置や姿勢、タイミングなど具体的に指導します。

小学6年生の大須賀成壱君は「練習はとても楽しい。飛び込むのが怖い種目もあるけど、新しい種目に挑戦してジュニアオリンピックに出たい」と話しています。

練習は火曜を除く平日午後5時～8時、土・日曜は午前9時～正午(午後6時までの場合あり)。見学も可能です。

### 問い合わせ

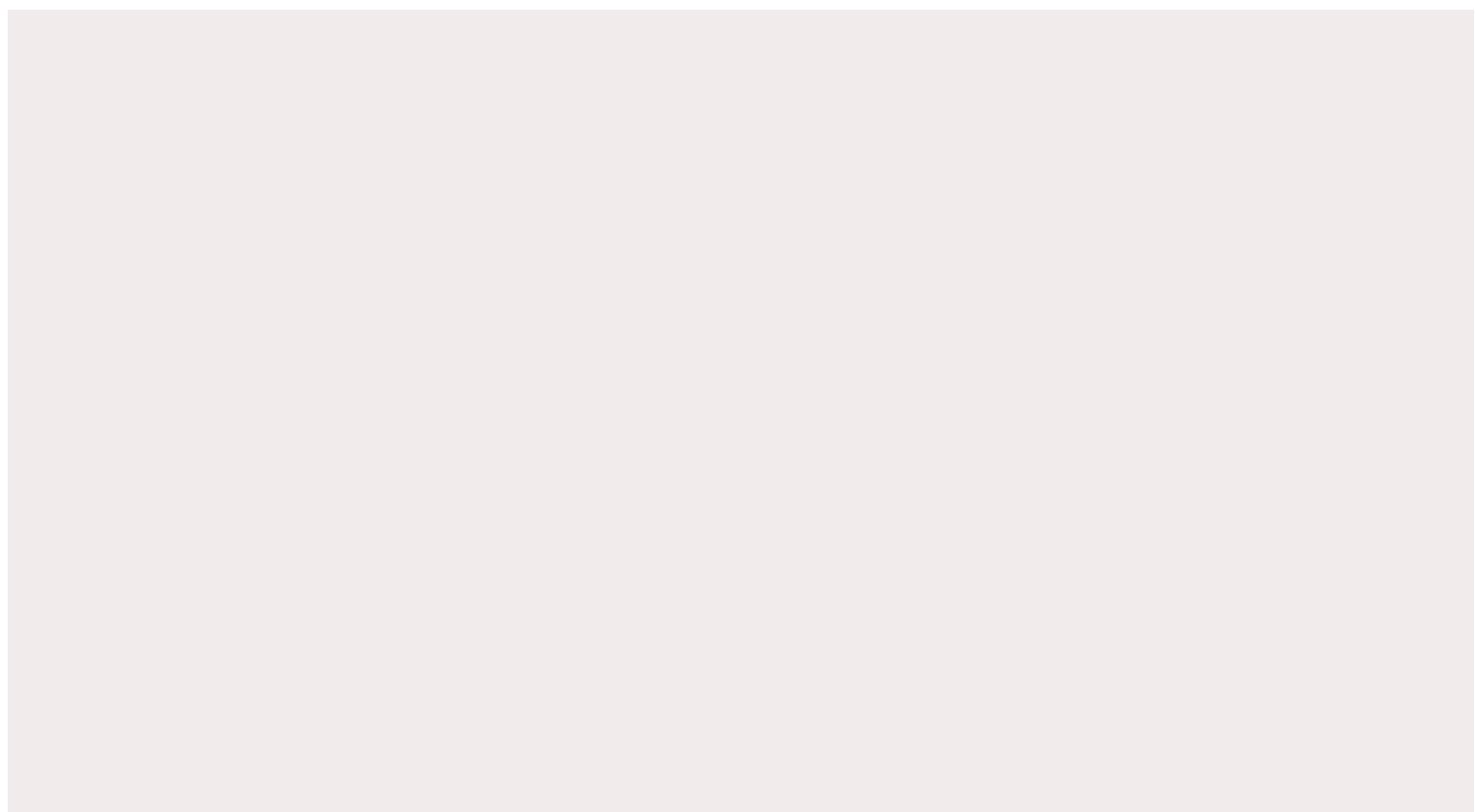
県立総合水泳プール・植村さん  
☎087(885)3821



▲8月の大会に向け、毎日のように練習を重ねています



▲ジャンプの高さや入水角度、姿勢の美しさを競います



## 夏休み子どもミュージアム

つなげてひろげて 紙から生まれた不思議の世界

～秋山たいけいのからくり～

●時/7月16日(土)～8月31日(火) 月曜休館(8月15日は開館)  
 ●所/県立ミュージアム



鳥をねらう猫を抱く少女

没後25年を迎える香川県出身の版画家・造形家である秋山泰計が58年の生涯に制作したくたいけいからくりと称する紙の造形作品を中心に展示します。遊びと造形、をテーマに、遊びの中から作ることの楽しさや表現の多様性の発見、創作の充実感を味わってもらうため、期間中、ワークショップや鑑賞講座などさまざまな関連イベントも行います。

■問い合わせ/県立ミュージアム  
 ☎087(822)0002

時/8月20日(土)午後1時～午  
 数/小学生以上・各回先着30人  
 料/500円  
 申/7月20日、来館FAX・E  
 メール(oubo@sanuki.or.jp)  
 わくわく「ども劇場」ねほしる

さぬき子どもの国  
 イベント  
 ☎087(879)0500

■カリブの音色♪  
 スチールドーム

時/7月24日(日)  
 午後2時～午後3時

所/こども劇場

数/200人

出/山村誠のドラムカーズ  
 おもしろ造形教室

時/8月7日(日)①午前10時～  
 正午②午後2時～午後4時

所/こども劇場

数/小学生以上・各回先着30人  
 料/500円  
 申/7月20日、来館FAX・E  
 メール(oubo@sanuki.or.jp)  
 わくわく「ども劇場」ねほしる

時/9月23日(金・祝)①午前11時～  
 ②午後2時～(約50分)(各回開演1時間前から整理券配布)

所/こども劇場

数/200人

■オータムコンサート

時/9月23日(金・祝)①午前11時～  
 ②午後2時～(約50分)(各回開演1時間前から整理券配布)

所/こども劇場

島、小豆島ふるさと村  
 島、豊島美術館  
 ③高松港フェリー乗り場集合、小豆島三都半  
 島水族館、香川県庁(知事室)  
 所/①JR高松駅集合、日・プラ工場、新屋  
 ②高松港フェリー乗り場集合、小豆島三都半  
 島、小豆島ふるさと村  
 ③高松港フェリー乗り場集合、小豆島三都半  
 島水族館、香川県庁(知事室)

料/無料※昼食代(1000円程度)は自己負担

申/7月13日(水)必着

ハガキに住所・氏名・生年月日・電話番号・学校名・学年・保護者氏名(承諾印付)、希望コース(第3希望まで記入可)を記入して左記へ

問/県庁県民活動・男女共同参画課内  
 (財)明治百年記念香川県青少年基金・青少年育成香川県民会議

☎087(833)3195

## イベント

7月～10月

■新国立劇場「どものためのオペラ劇場」「パルジファルとふしぎな聖杯」

087(822)0247  
 ■キッズワークショップ～戦時下の料理～

087(831)1814  
 ■流れ星を見よう

087(881)4428  
 ■屋島少年自然の家オープニング

料/テントサイト料1家族340円 その他活動費、薪代などは実費  
 ■五色台少年自然センター

KAGAWA KID'S CLUB 07

# きのこカレーで 夏の旬を 味わおう!

キノコ



旬の食材は他の時期に収穫されたものと比べて味が良く、栄養価も高く、たくさん出回るので価格が安いのが魅力。中でも夏が旬の野菜には、ほてつた体を冷やす作用や夏バテ予防のスタミナ作り、疲労回復などの効果があります。さらに、暑さで奪われやすいビタミンCもたっぷり。毎日の食事に取り入れて、夏を元気に乗り切りたいですね。

## 親子で作ろう! 夏野菜たっぷり きのこカレー

たっぷりの夏野菜と栄養満点のきのこを使って、子どもが大好きなカレー作りに挑戦! ささつと調理できる簡単レシピだから、手間をかけたくない日の昼食やキャンプにもおすすめです。

調理時間  
わずか  
**10分!**

## きのこの 夏野菜カレー

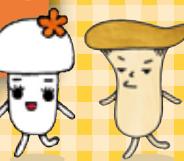
【材料(4人分)】

■ ブナピー、エリンギ 各100g	■ カレールー 4皿分
■ トマト 1個	■ 水 560cc
■ ナス 2本	■ しょうゆ 小さじ1
■ パプリカ 1個	■ ごはん 4人分

- ブナピーは石づきを切って小房に分ける。エリンギは食べやすい大きさに切る。トマトはざく切りに、パプリカとナスは一口大に切る。
- フライパンにきのこ野菜を入れ、ふたをして5分蒸す。
- 水を加え、ひと煮立ちしたら刻んだカレールーを加えて2~3分煮込み、しょうゆを加える。

### ブナピー& エリンギ からの ワンポイント アドバイス

マイタケを細かく刻み、保温状態の炊飯ジャーに入れて2~3分蒸らした「マイタケごはん」を合わせるとさらにおいしさがUPしますよ!



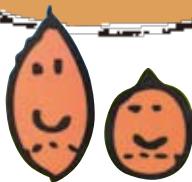
© 2002 HOKUTO/H/T

きのこには育ち盛りの子どもに  
必要な栄養たっぷり!



きのこは“第6の栄養素”として注目される食物繊維をはじめ、カルシウムの吸収を助けて骨を丈夫にするビタミンD、アミノ酸類など育ち盛りの子どもにたくさん食べてほしい栄養がたっぷり。加熱した時に出る汁にもうまみと栄養が含まれているので、捨てずに利用しましょう。

豊かな自然と楽しい遊具で  
思い切り外遊び!



元気いっぱいの子どもたちは、外遊びが大好き! 今回紹介するのは、  
豊かな自然と楽しい遊具で魅力いっぱいの公園「公渕森林公園」です。

高松市街から程近い場所にある公渕森林公園は、家族で  
楽しめる憩いのお出かけスポット。一部施設を除き年中無  
休で、大人も子どもも入場は無料です。

93ヘクタールの広大な敷地内には、芝生広場やチビッコ  
広場、レストハウスを整備し、一日いても遊びきれないほど。  
四季を通じて多くの家族連れでにぎわっています。

遊具7基を新設

## 青少年の森

この春、キャンプ場などを  
備えたゾーン「青少年の森」に、新しい遊具が登場。  
「つかまりラダー」「サーカス渡り」「  
ターザンロープ」など、小学校高学年以上を対象に作られたアスレ  
チック遊具7基が加わりました。体力や技術を駆使して遊ぶこれらの  
遊具は、少し大きくなった子どもたちに早くも大好評。豊かな自然の  
中でアウトドア遊びを満喫して。



遊具がいっぱい  
チビッコ広場

小さな子どもを遊ば  
せるなら、チビッコ  
広場がいち押し。滑り台やリン  
グトンネルなどが組み合わされ  
た大型コンビネーションやジグ  
ザグ平均台、こぐまのシーソー  
などのカラフルな遊具が並び、  
遊びながら丘を登ったり降りたり…。  
子どもが遊び疲れるまで、親は芝生広場に腰を下ろし  
てリラックスできそう。たっぷり  
遊んだ後は、お弁当を広げて  
のんびり。とにかく  
広いので、人出の多  
い休日でも混雑し過  
ぎる感じがないのも  
嬉しいところ!



公渕森林公園データ 高松市東植田町1210-3 ☎087(849)0402(財団法人かがわ水と緑の財団) 年中無休(レストハウス公園憩いの家は火曜休館) 入場無料

# 子育てそばくな疑問



香川県小児科医会 藤澤 卓爾

Q

最近、マスコミなどで話題になっている食中毒。これから夏場になりますが、子どものいる家庭ではどんなことに気をつけたいでしょうか？

A

食中毒は1年中発生しますが、高温、多湿になる梅雨期から夏場にかけて、食中毒の原因となる細菌が増殖しやすい環境になるため、細菌性食中毒が発生しやすくなります。特に大人に比べて抵抗力の弱い小児は重症化しやすいため、子どもたちが口にする食品、特に生ものの取り扱いには、この時期、十分に注意が必要です。

これからの時期、発生件数の多いカントロバクターやサルモネラ菌、小児の死亡例や重症例が問題となっている腸管出血性大腸菌（O157、O111、O26など）や毒素産生菌など細菌性食中毒に注意が必要です。これらの食中毒菌は牛や鶏など。



ど家畜の腸にいる細菌で、生の鶏肉や牛肉に付着していたり、生肉に触れた手やまな板などから、野菜やほかの食品にも菌が付着します。少量でも感染し、菌が体内に入ると2～8日で、腹痛、嘔吐、下痢（血便）、発熱などの症状が現れます。冬期に流行しやすいウイルス性胃腸炎では一般的にサラツとした水様便が特徴ですが、それに比べて細菌性食中毒では粘液便や血性便を認めることが多く、このような便を認めた時は直ちに医療機関を受診してください。

「菌を殺す」では、包丁、食器、まな板などは洗った後、熱湯をかけると殺菌効果が上がります。加熱して調理する食品、特に肉類は十分に加熱しましょう。牛ステーキ肉であれば基本的に表面を十分加熱すれば殺菌されますが、ハンバーグなど肉や脂をつなぎ合わせた結着肉やひき肉、筋切りした肉、タレに漬け込んだ肉、牛や鶏のレバーなどの内臓などは、内部まで十分に加熱してから食べましょう。

食中毒というと飲食店などで発生する大規模食中毒が注目を集めますが、家庭においても食中毒の危険性は十分にあります。予防の3原則は、食中毒菌を「付けない」、「増やさない」、「殺す」です。家庭で生肉、魚介類を取り扱った後の手洗いはしつかり行うこと、生の肉や魚を切った後、そのままその包丁やまな板で果物や野菜などを生で食べる食材や食品を調理しないこと、食器、ふきん、スポンジなどは使った後洗剤と流水で十分に洗うこと、などの習慣をつけましょう。

生肉や加熱が不十分な肉の料理は食べないこと、飲食店などで生肉や肉を生焼けで食べる料理がメニューにあっても子どもには食べさせないのが親の愛情です。焼き肉やバーベキューなど、自分で肉を焼きながら食べる場合は、取り箸と自分の食事用の箸とは区別して使用しましょう。

## 介護老人保健施設を訪問

# 世代を超えた交流で 豊かな感性を養う

保育所と幼稚園の枠を超えた、新しい児童福祉施設「東かがわこどもアカデミー」は、共働き家庭をサポートするため、1988年から4、5歳児の受け入れを開始しました。地域の介護老人保健施設や家庭などと連携しながら、幅広い活動を行っています。

▲キンダーA組による「よさこいソーラン」。あまりの完成度の高さに、踊り出すと客席からどよめきがおこります

## 「見せる」と「魅せる」 成長感じる生活発表会

5年ほど前から行っているのが、同アカデミーから徒歩5分の場所にある「介護老人保健施設ひまわり」との交流。毎月1回施設を訪問し、一緒に運動会をしたり、手作りのこいのぼりやたこをプレゼントしたり



▲「介護老人保健施設ひまわり」で行うひまわり運動会。子どもたちの活動を優しく見守ります

5年ほど前から行っているのが、同アカデミーから徒歩5分の場所にある「介護老人保健施設ひまわり」との交流。毎月1回施設を訪問し、一緒に運動会をしたり、手作りのこいのぼりやたこをプレゼントしたり

A組（5歳児）の男児による「よさこいソーラン」。手の指先から足のつま先まで神経を行き渡らせ、力強く踊るさまは大人顔負けです。子ども接する機会が少なくなった高齢者からは「自然と笑顔になる」「昔を思い出して懐かしい」といった声も聞かれます。一生懸命取り組む姿や子どもたちの成長ぶりを見て、思わず涙を流す人もいるのです。

「日本の心や文化など伝統を大切にしつつ、流行を取り入れた構成にしています」とは、所長の赤松孝章さん。会場は午前7時半オープンですが、まだ日も昇らない午前3時半ごろからお客様の列ができ始め、

A組（5歳児）の男児による「よさこいソーラン」。手の指先から足のつま先まで神経を行き渡らせ、力強く踊るさまは大人顔負けです。子ども接する機会が少なくなった高齢者からは「自然と笑顔になる」「昔を思い出して懐かしい」といった声も聞かれます。一生懸命取り組む姿や子どもたちの成長ぶりを見て、思わず涙を流す人もいるのです。

「日本の心や文化など伝統を大切にしつつ、流行を取り入れた構成にしています」とは、所長の赤松孝章さん。会場は午前7時半オープンですが、まだ日も昇らない午前3時半ごろからお客様の列ができ始め、

## 地域との関わり深める 教育内容を充実し

発表会では年齢ごとにいくつかのグループに分かれ、流行のJ-POPから童歌まで曲に合わせたオリジナルダンスを披露します。約2カ月前から練習し始めますが、子どもたちは「もっと！もっと！」と意欲的に練習に参加。覚えるのも早いのだとか。昨年の大トリは、開設以来の秀作との呼び声が高いキンダー

他にも、介護老人保健施設や子育て支援センター、婦人会などと連携しながら地域の大人と触れ合う機会を設けています。父親の行事参加率も高く、夕涼み会のバザーは父親が担当。通園児の家族だけでなく、施設のお年寄り、卒園児など約500人の人で園庭は埋め尽くされます。もちろん大会など伝統行事を通じた交流も行っています。

2010年には児童福祉の増進や地域の子育て、家庭に対する育児支援などの活動が評価され、御下賜金も伝達されました。今後も教育内容の充実を図りながら、地域や家庭との関わりを深めていくそうです。



▲2009年12月に行われた生活発表会の大トリは「ベルサイユのばら」。宝塚ながらの衣装は職員の手作りだとか

# 保護者と園が楽しんで子育て 「保育支援ボランティア」

「三木町立田中幼稚園」では、2010年度から保護者が幼稚園活動をさまざまに面からサポートする「保育支援ボランティア」を行っています。『幼稚園でなければできない子どものふれあい』を大切に、自主的に活動しています。



▲誕生会では寸劇やハンドベル、歌と踊りなど、工夫を凝らした活動をしています

◆ナスの植えつけ風景。今年は年中・年長児13人とボランティア6人が参加しました

「保護者が無理なく参加できる活動を通して、園と家庭が一緒に子育てを」との思いから始まった「保育支援ボランティア」。昨年は、毎月1回行う絵本の読み聞かせと誕生会を主にしていましたが、今年から範囲を幼稚園活動全体に広げました。

その活動の一つとして今年5月に行つたのが、園庭にある畑での土作りと野菜の植えつけです。小さなスコップで穴を掘り、トマトやナスなどの夏野菜の苗を園児と一緒に植えました。園児たちは保護者と一緒に作業することでやる気満々。保護者も子どものためと、気合いが入ります。活動後は「次はいつ来るん?」と楽しみにしている様子。そんな子どもたちの姿を見て、また次もとボランティアの参加者を増やしています。

## 気軽に活動に参加 子育ての理解深める

保護者自身が得意なものやスケ

ジュークなどに合わせ、参加できる人が活動するというスタイル。活動の様子は口コミで広がり、今年は全20家庭のうち、15人（家庭）がボランティアに登録しています。

「園児一人一人に目を向け、安心して活動ができるのでとても助かります」と宮武尚美園長。「核家族化が進み、子育てで悩む母親もなくありません。保護者同士の交流はもちろん、保護者と園も行事や子育てに関して話し合う機会が増えています」とPTA会長・英美緒さんも「授業参観でしか見られなかつた子どもの姿が、身近な活動で見られるいい機会になっています」と話します。今後もサツマイモのつるさしや園の展示物の張り替えなどをを行い、活動の基礎を固めつつ、お互いに楽しんで子育てができる活動を続けていくそうです。



保護者自身が得意なものやスケ

です。